D.Y.F.C　滋賀県　フィッシングパーク高島の泉
トラウトルアースクール　開催レポート

開催日：2024年5月18日（土）

関西有数のエリアトラウト施設でルアーフィッシングに挑戦！
クリアボンドの攻略＆楽しみ方を参加者全員で学びました!!

年間を通してトラウトたちが活動しやすい水温14度台をキープ！　5月18日は、キレイな湧水を利用して最適な環境を整えるエリア施設（管理釣り場）・滋賀県高島市「フィッシングパーク高島の泉」で、トラウトルアースクールを開催しました。
ボンド（池）に放流されている魚たちは、ターゲットの代表格であるレインボートラウトを中心にイワナ、ヤマメ、サクラマスなどで、そのどれもがパワフルと大評判！また当日は、淡水魚的ファンから「幻の魚」と称されているイトウを数多く放流、当日もその引き味、そしてイトウ目当てに140名のアングラーたちも遊びにきていました。
予定時間に開会式を終えた参加者たちは、トラウトマスターの高田達也プロとトップトーナメンター・知田浩輝プロから釣り方の基本とコツを学ぶためにボンドへ移動、ちなみにテレビ取材でおなじみ先生の横山プロからのとっておきアドバイスは「表層狙い」、１ｇ程度までの軽めのスプーンやフローティングのクランクをスローリトリーブ（ゆっくりリールをまく）でゆがせて誘うのが効果的とのことでした。
レクチャーを受けた後は、３つあるボンドへ3班ごとに分散して移動、タックルのセッティングを完了させた人から釣りを開始しました。
すぐにヒットの声をあげたのはテクニックの用意で、表層狙いに優した馬３の男の子でした。
その後、表層狙いに苦戦する参加者もいましたが、そこは経験練屋の各班のコーチ陣、マンツーマン指導をするなどで徐徐サポート、ほぇに釣果を上げて行きました。
スクール中盤から以、クリアボンド（キレイな湧水＋透明度が高い水を使用している池）のためルアーを見切られることが多くなり、アタリが遠退いてしまい・・。
そんな状況を見て、全体を見回る高田プロは「池味なカラー、オリーブ（緑褐）系などマット系のカラーを使い、こまごましたアーチェンジしながらレンジ（魚いダナの深さ）を探って食わすコニアドバイス、それで結果が出ない場合は、釣り場の構造も視野に入れてください」とクリアボンドの攻略の決参考を各班へ伝えました。
このルアーチェンジのアドバイスは効果テキメンで、アタリを遠退させる局が続出、スクール終了までいろいろ考えながら釣りを楽しみました。
今回のスクールでは多くの参加者が、クリアボンドではルアーカラーはもちろん、微妙なレンジの置やルアーをリくスピードで食いが変わることを学習、ひと回り成長して各自が家路に着きました。

関西エリアで大人気のエリア施設、滋賀県高島市にある「フィッシングパーク　高島の泉」、設置された３つの大型ボンドには平均を上回る体長の魚たちが住む、トラウトたちは絶好のコンディションをキープ、そこに放流されている魚は、レインボートラウトを筆頭にイワナ、ヤマメ、ブラウントラウト、そして20ポイウなどとなっています。
※DYFC会員に特典が付くベースキャンプにもなっています！

この日を待ちわびた関西エリアの会員さんたが、元気良く「おはようございます！」と挨拶をしながら受付を済ませて行きました。
D.Y.F.Cは、安心・安全を第一に考え、スクールを開催しています。受付後にはオリジナルのライフジャケットを身に着けてもらいスクールに参加していただいてます。

ライフジャケットを着ころプロたちと写真を撮りながら雑談をして、緊張感をほぐしてもらいます。毎回、みんなが集合するまでの間にミニスクールを開催。ライフジャケットの収着やイグ、という時のための結の使い方やルアーとラインの結び方などを学んでいただいています。また群に限りがありますが偏光グラスの貸し出しも行っています！

DAIWAブランドを展開するグローブライド（株）では、不要なラインを釣った人たちでエアを作り出すリサイクル活動『BE EARTH-FRIENDLY RECYCLEプロジェクト』を実施中！　毎回スクール会場にたちの回収BOXを設置していますので、ご協力よろしくお願いいたします。今回はウエアを持参してくれた方がいました!!
※リサイクル活動の詳しくはこちらをご覧ください。
https://www.daiwa.com/global/ja/be-earth/recycle/

いよいよ競会式がスタート。今日の流れや注意点をD.Y.F.C中萬生でスーパーフレッシュエンクラーの千葉百々祐さんが伝え、今回参加しているプロたちの紹介へ入り、その後、各班にコーチが付いてボンドへ向かいました。

実的に入る前にトラウトマスターの高田達也プロとトップトーナメンターの知田浩輝プロによる釣り方のレクチャーがありました。ここでキャスティングのコツやルアーの動かし方、当地の攻略法などを参加者たちに実際に見てもらい、まずは目で覚えていただいてから実的に入りました。

３つあるボンドに各班が別れて移動、釣り座を決めた班からタックルのセッティングに入りました。各コーチ陣は、ルアーとラインの結び方などの重要なパートをレベルに合わせて分かりやすく指導、の回避に来た姉、ひとりでセッティングができるように学んでいただいています。

実的が始まりました！　ファーストヒットは、当地の攻略法のひとつである表層狙いに優した高校生で、スプーンのスローリトリーブ（ゆっくり巻き）で食わせて、見事レインボートラウトをキャッチ！　その後もヒットの声が続々と掛かり始めました。

競戦しているメには、各班のコーチと全体を見回る高田プロがマンツーマン指導、徹底したサポートで、低学年の班も次々と魚をキャッチすることに成功！　表層を狙いやすいフローティングタイプ（浮かぶ）のクランクのスローリトリーブで食わせていました。

スクールの中盤以降は、クリアボンド特有のルアーを見切る魚が続出、アタリが遠退きましたが、「ナチュラル系（緑、茶系の地味なカラー）のルアーを使い、こまごにチェンジしながら探ると結果が出るよ」との高田プロのアドバイスで再度アタリを捉えることができるようになりました。最終的には、魚影をゲットした人もいて、スクール終了まで楽しめました！

テレビ雑誌でおなじみのデスター陣を始め、釣りのエキスパートたちが子供たちを毎回サポートしています！